

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

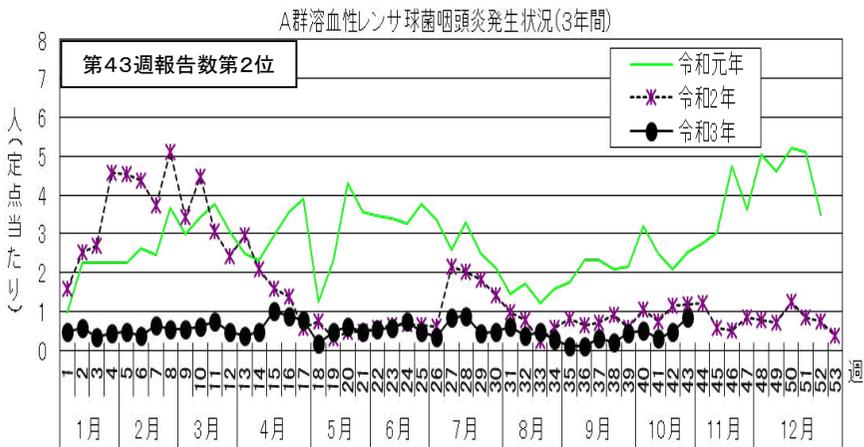
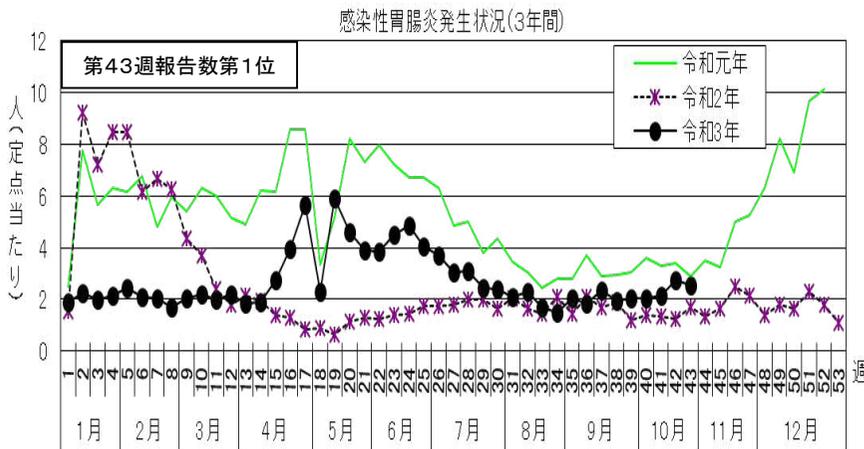
令和3年10月25日（月）～令和3年10月31日（日）〔令和3年第43週〕の感染症発生状況

第43週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は2.54人と前週（2.73人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.84人と前週（0.49人）から増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。

突発性発しんの定点当たり患者報告数は0.51人と前週（0.24人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



## 今後気をつけたい感染症～麻しん（はしか）～

麻しんは、麻しんウイルスを原因とする急性の熱性発疹性疾患で、免疫のない人が感染すると、ほぼ100%発症するといわれています。

全国における麻しんの報告数は、令和元年に744件と過去10年間で最多となりましたが、令和2年以降は新型コロナウイルス感染症の流行により、海外との往来が制限されたことに伴い、大幅に報告数が減少しました。

麻しんは非常に感染力が強い感染症ですが、ワクチンで予防することができます。今後海外との交流が再開された際には、国内に持ち込まれる可能性があるため、定期予防接種の対象者は確実に接種を済ませておきましょう。

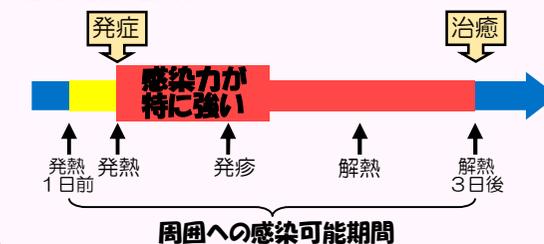
### 麻しんとは？

【感染経路】  
空気感染、飛沫感染、接触感染

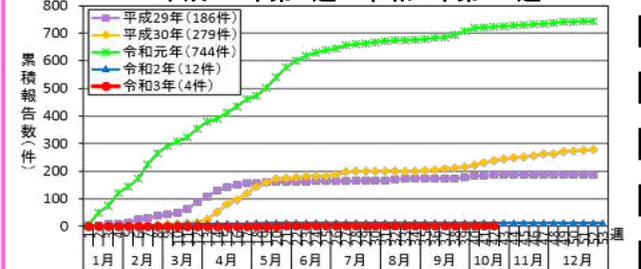
【潜伏期間】  
7～18日間（最長21日間程度）

【主な症状】  
発熱、発疹、咳、鼻汁、結膜充血など

【感染可能期間】



全国における麻しん累積報告数  
—平成29年第1週～令和3年第42週—



### 麻しん・風しん(MR)定期予防接種の対象者

第1期：生後12月から生後24月に至るまでの間にある者  
第2期：小学校入学前の年度1年間（4月1日～翌年3月31日）

※川崎市では、新型コロナウイルス感染症の発生に伴い定期予防接種を受けられなかった方は、申請することにより接種期間を延長できる場合があります。詳細は川崎市ホームページをご覧ください。